

イニシエーションスピーチ

安田 雅仁会員

安田と申します。通称は哲也と申します。

今回、私がこれまでに手掛けてまいりました仕事、そして現在従事しております仕事は、それぞれ全く異なる異質なもののばかりでございますので、その点につきまして、簡単にご説明させて頂きたく存じます。

取るに足らない、と申しますか、私が一体何を成し遂げてきたのかと問われますと、自分でも何も無かったのではないかと思います。しかしながら、これまでの人生を振り返ってみますと、このような事もあったのかと、感慨深いものがございます。今回このような機会を設けて頂きましたことは、むしろ感謝の念に堪えません。



まずは、簡単な自己紹介をさせて頂き、その後、現在特に力を入れております、ビジネスと呼べるかは分かりませんが、芸能関係の状況についてお話しさせて頂きたく存じます。

私は元々、化学の道を志し、東京理科大学の化学科を卒業致しました。その後、化学メーカー大手のヘキストジャパン、そしてユニオンカーバイドという外資系企業2社で約13年間、化成品関係の原料や化学製品の販売に従事し、当時はセールスエンジニアとしてトップセールスを記録したこともございました。しかし、途中から道を変え、東京エグゼクティブ・サーチという、全くの異業種、ヘッドハンターの世界に身を投じることになりました。化成品とは直接の関係はございませんでしたが、化学メーカーとの取引が多かったことが、その縁となりました。

東京エグゼクティブ・サーチとは、当時の言葉で申しますと、ヘッドハンターというもので、アメリカから渡来した、トップマネジメントや幹部候補生を対象とした人材紹介業でございます。企業の求める人材像を深く理解し、市場から最適な人材を探し出し、紹介するというのがその業務でございました。報酬は年収の約35%を前金で頂いておりましたので、例えば年収1000万円の方であれば350万円、2000万円の方であれば700万円という具合でございました。

当時は終身雇用が当たり前の時代でございましたので、転職という概念自体が非常に珍しく、ヘッドハンターという存在も、ある種、異端と見なされておりました。しかし、そのような中で、私は約8年間、この仕事に邁進致しました。

そして次第に自信を深め、1人でもやっていけるのではないかとの思いから、独立を決意致しました。5人ほどのパートナーと共に、新たな一步を踏み出したのでございますが、初めての独立ということもあり、その道は決して平坦ではございませんでした。資金繰りに苦しみ、わずか2、3年で、断腸の思いで事業を断念せざるを得なくなりました。続けることは難しいと判断

し、潔く退くことが最善であると悟ったのでございます。

その後、しばらくは1人で同じような仕事を続けておりましたが、一点集中の重要性を痛感し、製薬業界に特化した人材紹介業に舵を切ることに致しました。同時に、社会貢献の一環として、介護事業にも関心を持つようになり、専門家と共に、二足の草鞋を履くことになりました。

しかし、当時は介護保険制度が未整備であったため、介護事業は非常に困難を極めました。多額の資金が必要となり、これは私の手に負えるものではないと判断し、医療業界の人材紹介業に専念することに致しました。

その結果、事業は順調に拡大し、社員も30人を数えるまでになりました。平均年収も2000万円を超えるようになり、社員の中には、その収入で贅沢な暮らしをする者もおりましたが、私は、企業の寿命は決して長くはないということを肝に銘じ、新たな事業への投資を怠りませんでした。

65歳になったら好きなことをしようと心に決め、その資金源として、不動産投資を始めました。20年間で30棟の物件を購入し、現在では年間3億5000万円の家賃収入を得ております。

そして、その資金を元に、長年の夢であった芸能プロダクションを設立致しました。元々歌が好きで、カラオケスナックにもよく通っておりましたが、そこで出会った歌手たちとの縁が、この事業を始めるきっかけとなりました。

現在、MIYABIプロダクションには3名の歌手が所属しております。1人は、俳優として知られる鶴田浩二の息子、鶴田Jで、歌手デビューを果たしたばかりの新人です。もう1人は、旭川の観光大使を務める柳ジュンで、今年、徳間ジャパンから新曲をリリース致しました。そして、3人目は、女優として活躍していた高島レイラで、10年前に歌手デビューし、昨年3枚目のシングルをリリース致しました。

彼女たちは、下北沢と幡ヶ谷にある、私が経営する二つの店舗で歌っており、それぞれが精力的に活動しております。8月には、BSテレビやラジオへの出演、イベントへの参加など、多くの予定が控えております。また、8月31日には、御茶ノ水のガーデンパレスホテルで、昭和歌謡フェスティバルを主催し、アローナイツの木下あきらさん、ロス・インディオスらと共に、懐かしの名曲をお届けする予定でございます。

これらの事業は、全て家賃収入で賄っており、ビジネスとしては成り立っておりませんが、人の人生に寄り添い、社会に貢献できるという点で、大きなやりがいを感じております。皆様にも、何かお役に立てることがあれば幸いです。